

おすすめ図書紹介

血界戦線

私のお薦めは「血界戦線」という小説です。この小説はもとも漫画で、アニメでも公開されています。アニメのテーマ曲の「シュガーソングとビターステップ」「ステップアップ LOVE」は、どちらも有名です。

物語はレオナルドウォッチという人が世界の均衡を守るための組織に入り、街で起こる事件を解決していくものです。レオナルドの他に、組織をまとめているクラウドという人物も重要な役割を果たします。クラウドは「手始めに世界を救うのだ」が口癖です。この世界というのは、人界・異界が交わっている中間界のようなところで、そこが異界生物に侵食されるのを防ぐために、組織のメンバーは自分の特殊能力や特異体質を駆使して戦います。

本当に面白いので、興味をお持ちになったら、観賞してみてください。

体育学部3年 小川 真里菜



内藤 泰弘・秋田 禎信 著
／集英社

永遠の0 (ゼロ)

私が紹介したい本は、永遠のゼロです。この本の背景とされているのは太平洋戦争で、面白いという表現は適切でないかもしれません。

元々本を自主的に読む人間でありませんでした。中学の朝読書で読む本が必要で自宅の本棚から選り手に取ったのがこの一冊でした。最初は時間潰しのつもりで、なんの気無しに読み始めました。いざ読み進めていくと、授業の合間、昼休みなどの空き

時間はこの本と向き合っていて、あっという間に最後のページになっていました。

「必ず生きて帰る」と誓い、臆病者とまで呼ばれた男が、最後は自ら志願し零戦に乗り命を落とす物語。グッと引き込まれるストーリー性が圧巻です。命の儚さと尊さ、戦争を知らない私達世代だからこそ、ぜひ読んでほしい深い一冊です。

野外運動研究室 教務補佐 菊地 真美子



百田尚樹 著／
太田出版

DVD紹介

つつんで、ひらいて

ブックデザインについて考えたことがありますか？この映画は1万冊以上のブックデザインを手掛けてきた第一人者、菊地信義という装幀者のドキュメンタリーです。

電子書籍が広まる昨今ですが、本を紙で読む意味とは何でしょうか。紙の本は重くてかさばるし、表紙の画像だけだったら電子書籍でも見ることができます。しかし菊池は、表紙から帯まで、本を構成する全ての素材や色にこだわり抜いて作りあげます。本の内容を如何に表現するかに魂を込め、紙とインクの相性まで妥協しません。紙の本を手にとってこそ「本」を感じるのだと思わされる手仕事です。

装幀の深さを知ると、どうしてこの本は自分の目に留まったのだろう？と考えるきっかけとなるでしょう。そして、本だけでなく身の回りのデザインについても目を向けてみたら、世界が広がるかもしれません。

図書館事務室 新井 菜々子



監督・編集・撮影：広瀬 奈々子／販売元：パ
ンダインムコアーツ

図書館カレンダー

状況により、変更する場合があります。

9:00～13:00	9:00～14:00	9:00～16:00	9:00～17:00
9:00～19:00	9:00～20:00	終日閉館	未定

2022年 4月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

2022年 5月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

2022年 6月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

2022年 7月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

2022年 8月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

2022年 9月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

編集・発行：東京女子体育大学・東京女子体育短期大学
図書館運営委員会
東京都国立市富士見台4-30-1 TEL.042-572-4131

『春曉』

まうかうねん
孟浩然

春眠不覺曉
（春眠曉を覚えず）

処処聞啼鳥
（処処啼鳥を聞く）

夜來風雨聲
（夜來風雨の声）

花落知多少
（花落つること知る多少）



宇宙英雄ローダン・シリーズ

長年読み続けているSF文庫本を紹介する。「宇宙英雄ローダン・シリーズ」である。2021年1月で656巻になった。早川書房から1971年に出版されすでに50年間続いている翻訳のSF小説である。ドイツの著者グループがリレー方式で執筆し、現在も出版されている週刊誌だ。日本では2編を1冊として松谷健二（1998年死去）が翻訳。翻訳者の高齢化により日本の翻訳者もグループになり月2冊1年で24冊出版され続けている。

ドイツの作家の執筆なのに主人公ペリー・ローダンはアメリカ人の設定。宇宙にたくさんの宇宙人が住んでいて、宇宙連合ができ、

宇宙規模での災厄に何度も見舞われるという壮大な話である。核戦争での突然変異により超能力をもった地球人が地球のために活躍する。主人公は不死。他銀河まであっという間に到着する宇宙船（ちなみにボール型）。1編完結なので今から読んでも大丈夫。本国の巻が3000を超えているので、私が生きている間に最終回にならないのではないかと心配している。

体育心理研究室 阿江 美恵子



K H シェール他 著
松谷 健二 訳/
ハヤカワ文庫 SF

学校体育論

およそ100年前の本学

100年前の本学の主眼は、健康に寄与する体育と女子体育教員の養成でした。女子医専に学んだトヨ先生は、児童生徒の健康・発育に対して医学的な観点から貢献できる体育を目指していました。トヨ先生は、当時の文部省が推奨していたスウェーデン体操を、硬直的な体操で医学的根拠に乏しいと批判し、辛そうにスウェーデン体操を行う児童を見て「体育は児童をして如何に喜こんで為さしむべきか」¹⁾「愉快の伴わない運動は功のないということ」²⁾と主張し、緩やかな普通体操を奨励しました。当然、文部省にはよく思われませんでした。しかし100年前にトヨ先生が堂々と「楽しい体育」を提唱していたことに驚きます。また本著には「身体を離れて知徳の精神的方面はない…」³⁾という記述があり、ここでトヨ先生は心身一如を説きつつも精神に先んじる身体を強調しています。このようなところにトヨ先生の先見性と探求心、またそれを実践していた本学の校風をも感じ取ることができます。皆さん是非手に取ってみてください。



藤村トヨ 著「学校体育論」

ダンス研究室 奥野 知加

注)「1」～「3」 藤村トヨ著「学校体育論」1930（一成社）より原文を要約したもの。

「話す」「書く」「聞く」能力が仕事を变える！ 伝える力

これからの皆さんにとってコミュニケーション能力を身に付けることは重要だと言われています。社会人としての基礎的・汎用的能力の一つでもあります。この意味で、おすすめの本があります。どちらかと言えば読書嫌いの私も気楽に「なるほど」と納得し読める本でした。ビジネス書のジャンルで70のポイント(コミュニケーションスキルのヒント)が示されています。しかし、これらは卒業研究、指導案の作成といった教育の関係にも十分に役立つものと確信します。



池上 彰 著／PHPビジネス新書

私は、皆さんとは教職の指導で関わっていますが、皆さんが教育実習等で児童生徒にどのように「話し」、どのように「書く」ことで伝え、児童生徒の声をどのように「聞く」かのヒントにもなります。一例としてポイント42の「『もう一人の自分』を育てる」には教育評価の診断的評価の考え方も入っています。ぜひ、早目に気軽に一読してみてください。

特別活動研究室 美谷島 正義

ミイラ学 エジプトのミイラ職人の秘密

この本は小学校高学年を対象として発行されていますが、大人が読んでも興味深く読むことができます。特に絵がきれいで、絵だけ見てもこの本を楽しむことができます。

王室御用達のミイラ職人のパネブとその息子イビーが主人公で、ある日、王妃の父イウヤがこの世を去り、ミイラづくりがはじまります。どのような手順で、どのような器具を使ってミイラをつくっていくのか、そしてどのようにお墓に収めるのかなどが書かれています。

このイウヤは、彼の妻であるチュウヤと一緒に1905年にアメリカの



タマラ・パウワー 著・絵、
こどもくらぶ訳・編／今人舎

セオドア・テイビスとそのチームにより発見されています。最もきれいなミイラとして発見され、今は墓から出た副葬品と一緒にエジプトのカイロ博物館で保存されているそうです。

最近の書店での売れ筋は、子どもたちが読む図鑑だそうです。図鑑は、長期の取材が必要で、最近では絵がとび出したり、3D画像を見ることができる図鑑もあるようです。この本は、図鑑とは違いますが、実際のミイラのことや、膨大な取材が基になっていることを感じる一冊です。

器械運動研究室 山田 まゆみ